

息抜きの散歩道 Vol.22

編集・発行／日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
発行日：2024年10月15日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

今年もやります！学生が主役の選書会「特設書林」

[日時] 2024年10月18日(金) 10:30~17:00 [選書対象] 400冊以上

[場所] 5号館 2階 ラーニングセンター

[参加できる方] 本学の学生・教職員

学生、教職員の皆さまに、LCセンターに入れて欲しい本を選んで頂く「特設書林」、2024年度も開催します。
昨年度の開催の様子と、今年度の開催概要をご案内します。皆さまのご参加をお待ちしております！



「LCセンターに入れたいブルーレイ・DVD」投票受付中！(@LCセンター入口)

1	ゴジラー1.0
2	翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～
3	マーベルズ
4	ワイルド・スピード／ファイヤーブースト
5	死霊館のシスター 呪いの秘密
6	THE FIRST SLAM DUNK
7	ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー
8	プロジェクトセカイ COLORFUL LIVE 3rd - Evolve -
9	オーイシマサヨシ／オーイシ武道館 ～オーイシマサヨシ ワンマンライブ at 日本武道館～
10	ゲームセンターCX 有野の挑戦 inさいたまスーパーアリーナ 20周年大感謝祭

2023年度の様子



貸出ランキング

集計期間：2024年 4月1日 ～ 2024年 9月30日

1. 貸出15回

『ひとにぎりの未来』星新一 /著 新潮社 /刊

2. 貸出7回

『高電圧工学概論：基礎から実践まで』脇本隆之 /著 数理工学社 /刊

3. 貸出6回

『やりたいことから引ける!ガンプラテクニクバイブル 改造・ジオラマ編Ver2.0』小西和行, 瀬川たかし /著 成美堂出版 /刊

『人は話し方が9割：1分で人を動かし、100%好かれる話し方のコツ』松澤昭 /著 講談社 /刊

『高電圧工学』山本修, 濱田昌司 /著 オーム社 /刊

250文字

先生のオススメ本から、
新たな扉、開いてみませんか。

ブックレビュー

『美しい本屋さんの間取り』 エクスナレッジ /刊

発行年 2022.12

024
U 96

配架場所：3階

我が町に本屋が無くなって久しいが、大型書店に出向くと本屋や図書館を扱う新刊本が多くなってきたように思う。魅力的な空間の中で本を捲る楽しみなど、活字からの学びが見直されているのかも知れない。ここで紹介する本は、編集部を辞めて本屋になるワニ君の漫画から始まる。「来店者を増やす」「美しく本を見せる」「知っておきたい基礎知識」「書店のことが分かる用語集」から構成される。つまり、開業・運営の経営面も含めた小さな本屋づくりの手法を、多くのイラストを用いて豊富な事例で紹介してくれる。本屋の大きさや書棚寸法まで記している。読み進むうちに、町の居場所としての本屋の可能性や、大型書店にはない小さな本屋のあり方も想起され、プロの設計者でも気軽に読める一冊となっている。学生の皆さんも手に取ってみてはいかがか。

黒津 高行 (LCセンター)

『つくりたいんは世界一のエンジンじゃろうが! : 機能エンジニアリングのすすめ』

羽山 信宏 /著 日刊工業新聞社 /刊 発行年 2014.9

537.2
IH 47

配架場所：6階

今夏、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。多くの選手が世界一を目指して熱戦を繰り広げ、ほんのわずかの選手達が世界の頂点を極めたわけです。この世界一という言葉の響きには人々の心を奮立たせる魅力があるでしょう。機械工学の分野でも世界一を目指した技術開発をしているエンジニア達があります。世界一と聞くと自分には縁がないと思う人が多いのかも知れませんが、どのような分野であれ仲間と一緒にならいつか達成できるかも。世界初も世界一でしょう。いずれも胸がワクワクしてきませんか。

増本 憲泰 (機械工学科)

『マリア様がみてる』 今野 緒雪 /著 集英社 /刊

発行年 1998.5~2012.5

913.6
Ko 75

配架場所：8階

今回紹介するのは、今野緒雪著、全37巻からなるライトノベルの金字塔「マリア様がみてる」です。娘が中学1年の時に学校の図書室から借りて夢中で読み、私は60歳の時に読み耽った名著です。最初は取っ付きにくく感じる人もいるかもしれませんが、独特の世界観と細やかな心理描写で次巻へ次巻へと手が伸びる小説だと思います。私は、この本の直後にアニメ版と漫画版の仲谷鳩著「やがて君になる」を読み、男女、男同志、女同志に対する考え方が大きく変化したと感じています。自宅には、両著とも初版帯封付きの全巻を所蔵しています。

青柳 稔 (電気電子通信工学科)

『資本主義の次に来る世界』 ジェイソン・ヒッケル /著 東洋経済新報社 /刊

発行年 2023.5

332.06
H 54

配架場所：4階

これは、これから生きる人たちに必読の本です。このレビューをたまたま見た人は運が良く、騙されたと思って読んでください。一部のみに莫大な富が集中する超格差社会、目標が空回りする環境対策、急速に進行する6度目の生物大量絶滅などは、人類の資本主義信仰が根本原因であることに納得させられます。我々は、人の本当の幸福と生態系(ヒトを含むあらゆる生物の)の安定に重点を置く社会になることを望み、自己利益や成長を追求する日常から脱却した人生・世界観をもつべきであることがよくわかります。

伴 雅人 (応用化学科)

388

Ka 97

配架場所：4階

幻想生物がもしかしたら実在できるかもと思わせてくれるファンタジー好きにはたまらない一冊。空想科学読本系の本はいくつも読んできたが、その系統の本で感じた理屈をこじつけたという印象は感じなかった。タイトルの通り数種類のドラゴン種は爬虫類で説明されているが、魚までさかのぼれば6脚の動物も仮定できて、様々な幻想生物が説明できるなど、地球上にいた(いる)生物をもとにして、かなりしっかりと科学的に考察している印象で進化の系統が少し変わると確かにこんな感じもありうるんだらうなどと納得させられた。

滝田 謙介 (ロボティクス学科)

104

W 42

配架場所：3階

「待つ」ということの論考。現代は、「待たなくてよい社会」になったと同時に「待つことができない社会」だという。待つことがなにか悪いことでもあるかのように、待たないための努力を私たちは惜しまなくなった。しかし筆者は、そのことを「意のままにならないもの、どうしようもないものへの感受性をなくし始めた」と解釈する。なるほど、教員をしていると「待つ」ということの困難さに直面する毎日である。「いつかやる」「きっと来る」は、「もうやらない」「もう来ない」のであろうか。事程左様に「待つ」というのは難しい。

石原 次郎 (情報メディア工学科)

134.6

Sc 6

配架場所：3階

本にはいろいろな種類がありますし、読む目的も様々だと思います。学生のみなさんが日々学修のために教科書や参考者を読んでいるように、知識、学びを得ることは、本を読むことの大きな目的の一つでしょう。しかし、ショーペンハウアーは言います。「読書は他人にものを考えてもらうことである」「1日を多読に費やす勤勉な人間は次第に自分でものを考える力を失ってゆく」と。では、私たちはどうすべきなのでしょう。この問いに、ショーペンハウアーは、恐ろしいほどに切れ味がよく、そして美しいことばで答を示してくれます。

佐藤 進也 (データサイエンス学科)

721.2

A 33

配架場所：7階

2024年1月からNHKで放送されている「光る君へ」は、平安時代中期の貴族社会を舞台とした大河ドラマです。主人公である紫式部は『源氏物語』を書き上げた女性で、物語からは、寝殿造りの建物で優雅に生活する貴族たちの姿をみることができます。本書は、『源氏物語』などの王朝物語絵に描かれた建築空間から出された装束に着目し、女性の空間を読み解いたものです。天皇や貴族の邸宅の御簾の下からこぼれ出た装束は、何を示していたのか。大河ドラマで描かれた建築空間をみながら読んでみましょう。なお、著者の赤澤真理氏は、本学の卒業生です。

野口 憲治 (建築学科)

913.6

Mu 43

配架場所：8階

本作品はサッカーとドーピングを題材としたミステリー小説にジャンル分けされるのですが、今回この本を紹介する理由はそのストーリーにあるという訳ではありません。

この作品ではとにかく試合中の選手の動きが詳細に、そして鮮明に思い浮かべられるほどに細かく描写されています。スタジアムにいる観客の描写も相まって、まるで実際にその場で試合を見ているかのような感覚に陥ります。

サッカー用語が使われているのである程度の知識があるほうがより楽しめると思いますが、そうでない人にも一読してみる価値はあると思います。

中村 耀 (共通教育学群)

「スタンプラリー」開催報告

2024年7月8日（月）～7月20日（土）

ライブラリーサポーターが企画した「スタンプラリー」。LCセンター内を巡って全てのスタンプを集め、アンケートに回答した方には、クジ引きで「ダイニングホールの食券」「グッズ等の詰め合わせ」ほか、プレゼントを進呈しました。今回は、延べ126名の方に参加いただきました。

参加者からは「推理しながら探せて、面白い場所も発見できた」「手製のスタンプは味があって良かった」などの感想が寄せられました。



「選書ツアー」開催報告

2024年9月6日（金） 三省堂書店神田神保町本店

書店で本の内容を見ながら、「LCセンターに置きたい本」を選ぶイベントが、選書ツアーです。今回はライブラリーサポーターと教職員の計11名が参加し、三省堂書店神保町本店（仮店舗）にて、選書をしました。参加した学生の皆さんは、様々なジャンルの書棚を巡り、これはという1冊を手にとっていました。

今回、選んだ130冊は、10月の特集展示で貸出します。学生目線で選んだ本です。ぜひ、LCセンターまで足をお運びください。



ライブラリーサポーターを募集しています

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いして下さる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募をお待ちしております。

応募資格: 本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問） 無償ボランティアでの活動となります

活動期間: 年度単位 月1回程度のミーティング
イベントや作業中はその都度集まります

活動内容: ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

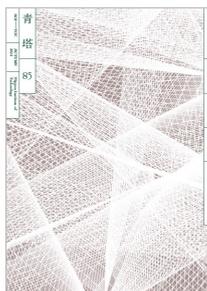
応募方法: LCセンターにて配布の応募用紙を2階カウンターに提出



ミーティング中



ライブラリーサポーターのX (旧Twitter) です。
フォローお待ちしております。
(QRコードからアクセスしてください)



『青塔』秋号を発行しました

秋号は、大学生活や研究テーマを中心に、主に新任の教職員の皆さまにご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。
ご自由にお持ちください。
リポジトリでも公開中です。

特集展示

場所：LCセンター2階 特集展示書架

9/24（火）～10/18（金）「図書館で学ぶSDGs」

SDGsの入門書を中心に関連図書を紹介します

10/21（月）～11/22（金）「先生と先輩のすすめる本」

250文字ブックレビュー紹介図書と選書ツアー図書を展示します

開館カレンダー（変更になる場合があります。）

10月 October							11月 November							12月 December							2025 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31	

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	変更開館日	状況により変更
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	---------